

# 演繹法

# 演繹法ってなに？

一般的かつ普遍的な事実  
(ルール・セオリー) を前提として



結論を導き出す

# 気をつけるべきこと

プロセスの特性上、非常に強い説得力をもつ推論方法

↓ しかし

~~前提として選定した一般論や普遍的事実に偏った主観  
が混じってしまうと論理が破綻~~

# 正しい例

## 一般的かつ普遍的な事実（ルール）

- 「メリットがデメリットを上回る場合、プロジェクトを実行する」

## 事例

- 「投資案件Bは、メリットがデメリットを圧倒的に上回る」

## 結論

- 「投資案件Bを実施すべきだ」

# 正しくない例

## 一般的かつ普遍的な事実（ルール）

- 「製造業では会社の売り上げが大きいほど規模の経済が働き、単位あたり製造コストは安くなる」

## 事例

- 「GMはフォードより売上高が大きい」

## 結論

- 「GMはフォードより単位あたり製造コストが安い」